

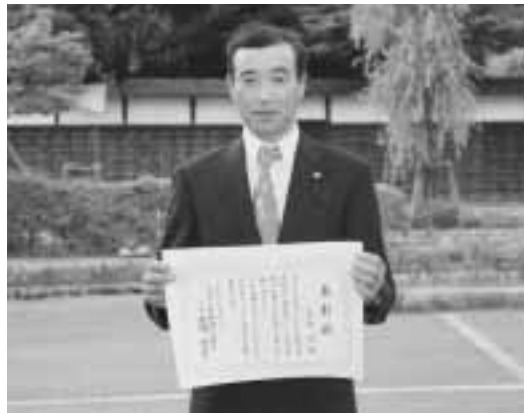


おめでと〜いございます

津野倫子さん(下関)が

優良会員表彰

地域の食生活改善推進員活動に、長年にわたって尽力された津野倫子さん(下関)に、県食生活改善推進員協議会(外山迪子会長)から表彰状が贈られました。



おめでと〜いございます

村消防団長 菅原 修さん(片貝)が

河川功労表彰

荒川の水防活動に、長年にわたって尽力された村消防団長の菅原修さん(片貝)が、日本河川協会から表彰されました。

菅原団長はこれまで、水防活動や消火活動など消防団員として地域に貢献。「これからも村民のためにより一層頑張りたい」と話していました。



花でいっぱい

各地で花植え

五月三十日、大石・山と川に親しむ会(高橋八男代表)主催の大石ダム花いっぱい活動が行われました。
当日は、地元住民など約五十人が参加。マリーゴールドやペゴニアなどをプランターに植え、大石ダム周辺に設置しました。これは、大石ダム周辺を花でいっぱいにして、来訪者へのおもてなしや思いやりの心を育てることを目的としています。

六月三日、下関保育園駐車場で「花いっぱい運動」が行われました。
この運動は、村商工会青年部(須貝博毅部長)と女性部(佐藤秀子部長)が共催して毎年実施しているもの。当日は、青年部と女性部員約二十人のほか、下関保育園の年長児三十人が参加。園児たちは、白やピンク、紫のペチュニアを五十個のプランターに植え、移植後は下関駅前通りの各商店に寄贈しました。



花火に想いを託してみませんか?

今年で23回目を迎える、えちごせきかわ大したもん蛇まつりは、8月27日(金)から29日(日)の3日間にわたり盛大に開催されます。

まつりの華となる花火大会は、8月28日(土)午後7時打上開始。そのなかで今年も「思い出花火」を皆さんから募集しています。お誕生祝いやご結婚、七五三に成人式、還暦や長寿、記念日などの思い出を花火に託して、夜空に大輪の花を咲かせてみてはいかがでしょうか。

申込締切 7月23日(金)

花火の価格

- 梅(三号) ... 5,800円
- 竹(四号) ... 9,000円
- 松(五号) ... 12,700円
- 鶴(六号) ... 17,000円
- 亀(七号) ... 24,500円
- 富士(八号) ... 35,000円
- 寿(十号) ... 50,000円

特典

打ち上げていただいた方に特別打上証書(写真付き)を贈呈
当日の観覧は、特別見学席をご用意

申し込み・問い合わせ
関川村観光協会

(役場農林観光課内)
0254-64-1478(直通)

堀と柳の春まつり 街並み見学ツアーも好評



品揃えが豊富で大盛況のフリーマーケット広場

五月三十日、役場前の「柳とせせらぎ通り」を中心に、下関堀と柳通りの会（佐藤成一会長）主催の「堀と柳の春まつり」が開催。天候にも恵まれ、村内外から大勢の観光客が訪れました。

まつりでは、リーズナブルな価格で人気のフリーマーケット広場や電動立ち乗り二輪車のセグウェイ、越後関川龍泉太鼓、関川中学校吹奏楽部の演奏などが行われ、大勢の人で賑わいました。

また、平田大六村長がガイドを務める「街並み見学ツアー」では、普段非公開の佐藤邸や津野邸、旧斎藤医院、大蔵神社などを案内。当日は、大規模な改築が行われた佐藤内科小児科医院も特別公開されました。参加した皆さんは、平田村長の説明を聞きながら往時の趣をしのいでいました。

ガイドツアーに参加した新潟市の女性の方は「子どもと一緒に来ましたが、村長ガイドは初めてですが、見て歩く建物がどれも素晴らしいです。ぜひ来年も来たいです」と感想を話していました。

7月22日(木)~7月31日(土) 夏の交通事故防止運動

「交通安全」トキめく夏の 台言葉

この運動は、夏を迎え開放感から来る飲酒運転や無謀運転、夏休みを利用した旅行等、長距離運転による疲労を原因とする交通事故の防止やシートベルト・チャイルドシートの着用を呼びかけ、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に行われます。

運動の重点

- 飲酒運転の根絶
- 無謀・疲労運転の追放
- シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

村上警察署管内における交通事故の特徴

今年は、前方不注視、動静不注視が原因の追突事故が4割を占める。
今年に入ってから、女性ドライバーが関係する事故が多い。前年比の2割増。
昨年の6~8月は、居眠りや前方不注視による対向車線はみ出しの事故が多発。
シートベルト・チャイルドシートを着用していなかったため、または正しく使用していなかったため、重傷となったものが多い。



保育園交通安全教室

7月1日~7月31日は

バス車内事故防止キャンペーン

バスの車内で発生する事故は年々増加傾向にあります。特に、高齢化社会の進展とともに六十五歳以上の方が過半数を占めています。

バスを降りるときは、バスが完全に止まってから席を立つようにして、立ったまま乗車する場合は、吊革や握り棒にしっかりとつかまって乗車してください。

バスの車内で事故にあわないためにも、皆さん注意しましょう。